

株式会社エーアイエル 「おじさぼ」の取り組みが「夕刊フジ」に掲載されました。

夕刊フジ 2018年10月17日18面 掲載
 夕刊フジ 2018年10月24日15面 掲載

おじさぼ～シニアエンジニアのための取り組み～

「エンジニアの就業市場」は、エンジニア職を目指す人々にとって重要な分野。一歩は遅いとしても、必ずしも遅いとは言えない。しかし、年齢を重ねるとともに、求められるスキルや知識も変わってくる。その変化に対応するためには、学習の機会を確保し、最新のスキルを身につける必要がある。エーアイエルは、エンジニアのキャリアアップをサポートし、活躍の場を広げるための取り組みを行っている。おじさぼは、その取り組みの一つとして、シニアエンジニアの活躍をサポートしている。

■あつたらいねーを創る「社員が満足する」と、すなわち「社員ファースト」が顧客満足につながるという考えのもと、さまざまな働き方創り、顧客満足向上に努めています。入江雄介社長(38歳)は、「おじさぼ」の理念を語る。

同社は2013年に「EJXC E(エクセル)女子」というフロンティア上の事務サービス事業をスタートさせ、業界で注目を集めた。同事業は「EJエン」シニアまでのスキルは必要ない

企業編 AIL ①



人材ソリューションサービス業という領域で、独自のさまざまなサービスを提供している「AIL(エイエル)」(東京都千代田区、入江雄介社長)。同社は、「35歳定年説」もあるエンジニア業界で、シニア男性の就業支援を行っている。

AILの「おじさぼ」～シニアエンジニアのための取り組み～について (<http://ail-iti.com/recruit.html>)

シニアエンジニアをサポートする「おじさぼ」

(一)「オレンジ世代」取材班

また、長期ではないスポット対応案件を積極的に取り入れ、働き方改革にもつなげている。次回はおじさぼの立ち上げメンバーに、その思いを聞く。

■シニア層の男性エンジニアを支援

エンジニア業界では「35歳定年説」が根付いてきた。この業界は納期が厳しい仕事で、体力が集中力が不可欠。IT技術は日進月歩の進化を遂げおり、新しいスキルを学ぶ必要がある。シニア層にはなかなか厳しい業界だ。

「けれど、人生100年時代の今、50歳は折り返し地点。エンジニアも同じはず。エンジニア人口は30年までに60万人不足とも言われています。そんななか、若手エンジニアの教育やマネジメントはシニアだからこそできる仕事です。」(入江氏)

「おじさぼ」(おじさぼサポート)が本格始動した。

「おじさぼ」は、シニア男性エンジニアを支援する。これまで、一度退職した女性の復職をサポートするサービスだ。

そして昨年、「おじさぼ」に続き、「おじさぼ」(おじさぼサポート)が本格始動した。

が一般事務やスキルがある人が欲しい」という顧客の要望から始まったという。標準スキルキルフルであれば、給与も安定し、安心して長く働けるというつもりだ。

また、女性のライフステージ(出産前後、子育て中、子育て終了後)に寄り添った働き方を支援する「おじさぼ」(おじさぼサポート)もある。EJXC E女子事業から派生したもので、一度退職した女性の復職をサポートするサービスだ。

おじさぼ
ベテラン
エンジニアを、
大切に。

■おじさぼのおじさんへの支援

同社は、システムエンジニア(以下、SE)の特定派遣という事業を行っている。同社の正社員SEが顧客と働くというシステムだ。ただ、正社員のSEは年齢が上がるにつれてコストが高くなるため、単価の安い若手SEに依頼しがちになる。

「日々進化続けるIT業界でスキルを保つには毎日の勉強が必要ですが、おじさん世代は心身とも疲労し、若い時のようにいきません。でも、住むローンや子供の学費のために、老

企業編 AIL ②



ニク女人材ソリューションサービスを提供している「AIL(エイエル)」(東京都千代田区、入江雄介社長)。昨年スタートした「おじさぼ」(おじさぼサポート)プロジェクトについて、立ち上げ者へ聞く。

「シニア専門部隊」新設で営業力強化

「おじさぼ」のウェブ広告例

同社ではスポット(短期)対応案件も積極的に取り入れ、副業促進制度なども導入、働き方改革につなげている。

シニアSEが経験や得意分野を生かし、裁量・自信を持ち、生き生きと仕事ができる場を自らに創出した、と熱い思いを語る佐藤さん。「おじさぼ」が、おじさんの心に合った度火をつけるプロジェクトへと成長する日々を期待している。

(一)「オレンジ世代」取材班

「1年前から、以前のキャリアアットたつた分野の新規事業を任せられました。試用期間でしたが、これまで20年以上働いてきた中で一番充実していると感じます。40歳を超えてからのキャリアチェンジは、リスクが大きく躊躇しますが、会社の中に多様なキャリアパスがあれば挑戦できます。」(佐藤さん)

「おじさぼ」の今後

おじさぼの始動で、シニア専門部隊が新設されたことで、シニア同士のコミュニケーションも密になった。それにより、各人の専門性を活かした提案が可能になり、若手SEとの抱き合わせ案件が担ぎ上がったという。また、SE職を極める後進を育成する、新規事業にチャレンジするといった多様なキャリアパスも用意している。

眼を背けりし戦い、頑張るしかない。自分も含め、そんなおじさんをサポートする仕組みを創りたかった」

こう話すのは、「おじさぼ」の立ち上げ者である佐藤歩さん(43)の顔写真だ。

40代からシニアと呼ばれる業界で、50代でも長く働き続けるには若手とは異なる強み。自らの技術力とより高い専門性を生かしていかなくてはならない。